

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・7月の夏祭りによる需要が相当高まるのではないかと期待している。例年と同じようにやれば、売上も間違いなく上がる。
		その他小売〔雑貨卸〕（経営者） 観光名所（職員）	・売上と利益の点からみて良くなる（東京都）。 ・梅雨が明け夏休みに入ると、旅客が増えてくるため、2～3か月後は今よりは良くなると期待している（東京都）。
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・客は、高齢の年金受給者が多く、その中でも格差が広がっているように思う。国民年金だけの受給者は、生活が厳しいようで、価格を見て、壊れてからでないとなかなか買換えはない。
一般小売店〔家電〕（経理担当）		・猛暑予報を信じて、やや良くなる。売れ筋予測が前年見事に外れているので、6月から商品不足と言われているものの、商品確保に頭が痛い。	
一般小売店〔祭用品〕（経営者）		・今年はリオデジャネイロオリンピックもあるし、イベントが多そうである。	
一般小売店〔文房具〕（経営者）		・個人向けの品ぞろえや外国人向けの商品構成を強化しているため、これからの2～3か月間に行われる近隣地域の夏のイベントにより、商品の動きに良い影響が出ると思っている（東京都）。	
百貨店（店長）		・景気の指標ともなるアパレルの動きが順調になってきている。	
スーパー（経営者）		・良くなるための準備をしている。	
コンビニ（経営者）		・季節的に暑くなるので、来客数もやや増える。ただ、世界的な経済不安により、消費購買力が落ちるのではないかと。	
コンビニ（経営者）		・ショッピングモールのテナントとして出店しているが、一時はかなりのテナントが撤退したが、最近はその半分くらいが新しいテナントで埋まってきている。また、今年の夏は猛暑になると予想されており、飲食料小売店にとってはありがたい気候である。	
コンビニ（エリア担当）		・今年は猛暑が予想され、飲料やアイスクリームなどの季節商材の売上が上がることを期待している（東京都）。	
家電量販店（統括）		・今年は猛暑の影響で、エアコンや冷蔵庫の需要が見込まれる。また、オリンピックイヤーということでテレビやブルーレイも売れるとみている。	
乗用車販売店（販売担当）		・英国のEU離脱問題も、数か月して世界経済にある程度落ち着きが出てくれば、少し良くなる。また、参議院選、都知事選と、物流については多少動くため、2～3か月後はやや良くなるのではないかと。あくまでも、東京都都オリンピック、東北復興によって景気の状態が良くなると考えるのは従来から変わらない（東京都）。	
その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）		・新店舗のオープンを抑えているため、期待している。	
旅行代理店（従業員）		・前年に比して進捗申込状況が良い。ただし、急激な円高、英国のEU離脱問題がどのように影響するかが懸念される（東京都）。	
通信会社（経営者）		・英国のEU離脱問題は、少しの間消費にマイナス影響を与えるだろうが、日本の景気にはさほど影響せず、ボーナスで消費が動き出すとみている（東京都）。	
通信会社（営業担当）		・リオデジャネイロオリンピックがあり、客はテレビ観戦をするので、ケーブルテレビサービスの契約が増えると思われている。また、営業担当を増員する見通しも立ち、トータル契約件数も増加が予想される（東京都）。	
通信会社（管理担当）		・テレビ視聴は、スマホ、タブレットを中心に多様なサービスが出そろっている。オリンピックに向けてより一層、自宅外での視聴が増え、それに応じて通信業界も活性化される。	
通信会社（経営企画担当）		・下期に向けて案件増の可能性はある（東京都）。	
通信会社（管理担当）		・法人向けのソリューション設備投資は、現状と変わらないだろうが、個人向けの携帯電話販売は、夏季商戦を迎えて、新商品が投入されることを受け、やや良くなる（東京都）。	
ゴルフ場（経営者）		・希望的観測である。	
その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）		・近隣の大型商業施設が11月いっぱい閉店するため、閉店セールを打ってくると思われる。	
設計事務所（経営者）	・準備段階ではあるものの、次のプロジェクトの打ち合わせが始まっている。		

	住宅販売会社（従業員）	・今月が悪かったため、2～3か月後の景気は例年並みに戻るだけで、今月よりやや良いということになる。例年以上に集客減をカバーするためのキャンペーン展開を行う予定であり、販売量をなんとか例年並みに持って行こうと考えている。
変わらない	商店街（代表者）	・客の来店が非常に少なくなっており、消費にかなり慎重な状況が続いている。先行きに対して不安感を持っているのではないかと。
	商店街（代表者）	・最近の天候は例年と違い、雨が降ったり、暑かったりという状態が続いているため、大変問題である。早く普通の状態に戻ることを望んでいる（東京都）。
	商店街（代表者）	・中型スーパーなどの容赦ない出店が止まらなければ、地元商店街は崩壊し、地方の駅前のようなドーナツ化現象に陥る可能性が強くなってきている（東京都）。
	一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・今年の夏も暑さが厳しい予報のため、来客数が減少してしまうのではないかと。ただし、大口の取引先が決まったので、多少は売上がカバーできるのではないかと考えている。
	一般小売店〔印章〕（経営者）	・当店の努力も必要だと思うが、努力するにも来客数が本当に少なく、あまり経済が動いていないのではないかと。非常に残念だが、厳しい。
	一般小売店〔米穀〕（経営者）	・政治の局面が不安定で、政治が落ち着かないと、明るい見通しは立たないような気がする（東京都）。
	一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・この先数か月の案件数もそれほど多くないが、少なくはない。競争が激しいために、ある程度件数が取れていても単価が下がってきている現状から、あまり変わらない。
	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・販売量も伸び悩み、給料も上がらずに現状維持で、夏の賞与も出そうにない（東京都）。
	百貨店（広報担当）	・客の心理にプラスに働く与件が少なく、今後もしばらくは同様の傾向が続くとみている（東京都）。
	百貨店（営業担当）	・天候不順の影響もあり、婦人服をはじめとした衣料品全般で低調である。それに加えて、英国のEU離脱問題等の国際情勢による円高、株安もマイナスに働き、高額商品の買い控えがあり、個人消費は低迷しつつある。景気の先行きはやや不安である（東京都）。
	百貨店（店長）	・株価低迷や円高ドル安などの進行などの経済面で、先行きが明るくなるような材料はない。
	百貨店（副店長）	・客の消費行動が、お中元商戦のピークや7月初旬からのセール等によって、どのように変化するのか注視が必要である。前年実績を上回ることを期待したいが、現状の様々な不確定要素がある経済情勢では、大きな伸びは期待できない。
	スーパー（販売担当）	・競合店との価格競争もあり、平均単価が下がる傾向にある。客は前年並みの点数を買っているものの、平均単価が下がっているため、客単価がなかなか前年まで届かない状況が続いている（東京都）。
	スーパー（経営者）	・悪い状態がこのまま変わらない。これから先、英国のEU離脱問題等で、円高、株安で悪くなる可能性もあるが、当店は日々の食料品の購入なので、すぐには影響はないだろう。ただ、また3か月先くらいに競合店が出店するので、その時は悪くなるかと感じている。
	スーパー（店長）	・本来なら、3か月後の景気は良いと答えたいが、今の客の様子からすると、3か月後も現状のままで行くのではないかと。いくら安く売っても、客は必要のない物は買ってくれない。若い世代、サラリーマン、年配の方いろいろな年齢層がいて、時間帯によって当然売れる商品も変わるが、安売りをしているからといって、買物かごに入れることはなく、本当に、今日必要な分を必要な数だけしか買ってくれないという状況なので、3か月後も変わらない（東京都）。
スーパー（店長）	・少しでも安い物を求める傾向は変わらないため、しばらくは同様の状況が続く（東京都）。	
スーパー（店長）	・来客数、買上単価共に変化はなく、1品単価の下落が特徴である。客の購買商品の二極化が目立ち、販売商品が高額品、低価格品と大きく分かれる傾向にある。	
コンビニ（経営者）	・近隣でマンション工事や建築現場がかなりあったが、それらの工事が終了したため、現在は悪く、来客数も減少している。	
コンビニ（経営者）	・消費税増税の再延期もあり、当分は客に変化がないと思われるが、プレミアム商品の売上に陰りが見え始めている。単価が多少低下し売上が減少し、景気は若干悪くなり始めていると感じる。	

コンビニ（経営者）	・英国のEU離脱問題で、大分円高になっている。小売業では円高は、従来どちらかと言うと、商品の仕入値が安くなり、販売価格も物によっては下がり、客が買いやすく、消費しやすい状況になると感じている。しかしながら、急激にここまで変わってくると、円高になり困る客も確実にいるため、何とも難しいが、変わらないと判断している。
コンビニ（経営者）	・政治が不安定に感じられるため、先行きは不安である。ただ、この夏は猛暑と予想されており、コンビニ業界は天候で売上が大きく変わるため、暑い夏になれば景気も上向くのではないかと。
コンビニ（商品開発担当）	・客単価は落ち込んでいないものの、来客数が回復しない状況が続いており、今後もこの傾向は変わらないと予測する（東京都）。
衣料品専門店（経営者）	・夏物衣料時期の後半に入るが、メーカーが生産調整しているために売れ筋商品がすぐに品切れとなり、売上につながりにくくなっているうえに、7月からまだ売れない秋物を薦めてくる。客が欲しい時に欲しい商材の品ぞろえができなくなっている。
衣料品専門店（経営者）	・消費税増税は再延期となったが、先行き不安で購買力が良くなることは、まだ思えない。
家電量販店（店員）	・今後の物価の上昇や、客の様子見での購入判断などをみると変わらないのではないかと（東京都）。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備と販売をしているが、整備は順調に入っているものの、販売はあまり芳しくない。例年だと6～7月は夏季賞与が出るため、販売は良くなるはずだが、今月は5割減である。
乗用車販売店（経営者）	・例年ならば、少ないながらもボーナス商戦のようなものもあったが、今年はそういった動きは一切感じられず、今後に期待できる材料もない。
乗用車販売店（経営者）	・国内外でいろいろな課題があるものの、自動車販売量は現状維持できると思う。
乗用車販売店（営業担当）	・7～8月の夏休みに入ると、車よりもレジャーに掛ける予算を気にする客が多い。
乗用車販売店（渉外担当）	・サービス在庫は通常通りの推移だが、受注は良くない。
乗用車販売店（総務担当）	・英国のEU離脱問題が、どのように客や企業に影響がでてくるのかわからない。
住関連専門店（営業担当）	・消費税率引上げに伴う駆け込み需要を予測していたものの、再延期となり先の見通しを立てにくい状況だが、特段悪い材料があるわけでもないため、現状維持とみている（東京都）。
その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・商品や人の動きが前月と変わらない。
その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・毎月のことだが、上向く要素がない（東京都）。
高級レストラン（副支配人）	・法人関連の予約状況から変わらないと判断している（東京都）。
高級レストラン（仕入担当）	・販売単価は現状維持の状態、来客数、売上共に前年並みと考えている（東京都）。
一般レストラン（経営者）	・店頭売上は3か月後もあまり変わらない。ケータリング部門に、少し大きい注文が入っており、多少は続くと思うため、全体の売上は若干減ると思うが、大幅には変わらない。
その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・マスコミなどの報道をみても、景気の良くなる要因はない（東京都）。
都市型ホテル（スタッフ）	・夏季シーズンは、例年通り変わらない。
旅行代理店（経営者）	・参議院選もあるが、九州地方では熊本地震、豪雨災害等が頻発し、海外では自爆テロなども発生しており、なかなか厳しいのではないかと。
旅行代理店（従業員）	・団体客は夏にあまり動きがなく、個人客の申込みあまり見込めない。
タクシー運転手	・今は選挙がらみで、我々は様子を見ながら仕事をしているが、客も大分迷っているようで、動向がはっきりつかめない。
タクシー運転手	・今年の夏はかなり暑い日が続くと聞いている。暑さのぎでワンメーターの客が増えると良いと思っている。ここ数か月、夜から深夜にかけてのタクシー利用が非常に少なく、しばらくはこの状態が続きそうである。
タクシー（団体役員）	・参議院選、政界情勢、円高、株安等の外的要素が多く、判断が難しい。

通信会社（営業担当）	・株価下落などの心理的な要因により、当面は消費意欲に大幅な回復は見込めない。	
通信会社（営業担当）	・今のところ大きな動きはみえないが、携帯電話について、安価なサービスを求める客層が増え始めている。	
通信会社（局長）	・リオデジャネイロオリンピックに期待したいところだが、今一つ客の盛り上がりは感じられず、そのまま夏が過ぎていくような雰囲気を感じる（東京都）。	
通信会社（総務担当）	・英国のEU離脱問題による円高等の悪影響が徐々に表れて来そうな気はするが、夏季の景気もあり、相対的には変わらない（東京都）。	
ゴルフ場（企画担当）	・来場者予定数を上回っているものの、会員の来場比率が高く、収支状況では来場者数ほどの収益はない。	
ゴルフ場（支配人）	・月による客の増減はあまり感じない。経済的な面はもちろんだが、ゴルフ場のため自然環境に左右されやすい。客の中心は時間的に余裕のある方が多く、これも天候に左右されやすい原因となっている。	
パチンコ店（経営者）	・5月は伊勢志摩サミットの警備の関係で、新台の入替えがほとんどできなかった。それでも、それほど来客数は落ちていなかったため、今後も撤去機の問題などがあり厳しい状況ではあるが、期待を込めて現状維持、変わらないと回答している（東京都）。	
設計事務所（経営者）	・経済が浮揚する要素がみえない。一部の大企業が潤っても社会全体に波及しているとは思えない。英国のEU離脱問題による経済的な影響も気になり、しばらくは我慢の日が続くそうである。	
設計事務所（所長）	・多少仕事量が増える見込みは立ってきたが、契約から入金までは立替えがあるため、このままの状態が続く（東京都）。	
設計事務所（職員）	・6月に入り、設計プロポーザルなどの案件が増えた一方で、消費税増税再延期に伴う契約の先延ばしも出るなど、全体として大きな変化はない（東京都）。	
住宅販売会社（従業員）	・住宅展示場等の集客は前年比横ばいで、特に目立った動きはなく、マイナス金利によるローン金利のメリットだけでは受注が上向きには弱い感じである（東京都）。	
住宅販売会社（従業員）	・資料請求など、新規資料が増えていない。熊本地震の影響で耐震工事があるかと思っただ、それほど反響はない。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・英国のEU離脱問題は当地のような地方経済にまで影響するインパクトだと思う。円高、株高に支えられてきた大企業の業績が良くないと、当地のような少し高め年齢層を顧客としている街はかなりの影響を受けるため、先行きが不安である（東京都）。
一般小売店〔茶〕（経営者）	・6月に入り、暑い日には深蒸し茶が美味しく感じるころ、消費税増税の再延期が個人消費にプラスになれば良いのではないかと。来客数、売上共に、減少が続いている。	
一般小売店〔傘〕（店長）	・経済が不透明で、消費に向かない感じがする。	
百貨店（売場主任）	・英国のEU離脱問題で円高、株安が進行し、インバウンド消費を含め苦戦が強いられると予想する。	
百貨店（総務担当）	・選挙の影響や株価低迷などにより、先行き不透明な状態が続く。将来的には今以上に厳しい状況のまま推移するのではないかと。ただし、日常的な食料品などは、それほど落ち込んでいないため、食料品の集客を核として、他の売上に波及するような戦略が必要である。	
百貨店（総務担当）	・英国のEU離脱問題で、世界的な景気減速が懸念される。日本経済も、先行きの不透明感から半年程度は影響を受け、買い控えが起きると予想する。	
百貨店（広報担当）	・選挙の年は百貨店の売上は減少傾向となるが、7月には参議院選、都知事選が予定されている。また、国際的には英国のEU離脱問題により、英国首相の後継者問題に揺れるなど、世界景気への不安から購買者心理の悪化が懸念される。実際、EU離脱が発表されてから円高、株安が進行しており、この傾向が継続すれば、百貨店の主要購買層である富裕層の購買心理の一層の悪化が予想される（東京都）。	
百貨店（営業担当）	・客の心理的要因が強く購買に至らない状況が多い。この傾向は、今後さらに強くなる（東京都）。	
百貨店（営業担当）	・一般消費者の購買意欲が低下していることに加え、英国のEU離脱問題により、為替、株価に対する不透明さから、高所得者の購買変動が、全体に大きく影響を与える。今は円高、株安方向のため楽観はできない。参議院選後に都知事選もあり、体制が落ち着くまでは、先が見通せない状況である（東京都）。	

百貨店（営業担当）	・今後の期待は、夏のボーナス支給によるサマークリアランスであるが、現状の購買行動から見るとメインターゲットである有職女性の節約意識が高いため、厳しい。また円相場、株価変動による富裕層の消費も鈍化が予想される（東京都）。
百貨店（営業担当）	・英国のEU離脱問題により、世界経済は混乱し、日本の株安、円高は当分続くと思われる。株安は富裕層の購買意欲を低下させる（東京都）。
百貨店（販売促進担当）	・世界経済の先行きの不透明感が強まったことで円高、株安が進み、出口の見えない状況で、消費意欲の低下はさらに進む（東京都）。
百貨店（管理担当）	・英国のEU離脱問題により、先行きに対する不安感から景気の停滞が予測される。
スーパー（総務担当）	・英国のEU離脱問題や、それに伴う株価の下落、都知事問題も含めて、世の中はあまり活発な動きになっていないと感じる。実質賃金も上がっている実感があまり湧いてこないなかで、今後の生活のことを考えて、客の財布のひもは、ますます固くなっているような買物状況である。
スーパー（仕入担当）	・英国のEU離脱問題により、円高、デフレ傾向になることが非常に懸念される。
コンビニ（経営者）	・3か月後に急に景気が変わるということは考えられないが、天気に大きく左右されるため、天候がどうなるかがポイントである（東京都）。
コンビニ（経営者）	・販売量の減少があるため、やや悪くなる（東京都）。
コンビニ（経営者）	・客の流れが悪くなっており、良い方向にはいかない（東京都）。
衣料品専門店（経営者）	・消費税増税の再延期が決まったにもかかわらず、客は消費に消極的であり、しばらく景気回復は期待できそうもない。
衣料品専門店（経営者）	・直接の原因がどうか分からないが、英国のEU離脱問題のショックで日本の経済がどうなるのか、また、株安、円高で、いろいろな企業の方が、不安視しているようである。それによって買い控え等もあり、今は祭りシーズンなのだが、必要な物以外は買わないという風潮が見受けられる。
衣料品専門店（統括）	・猛暑予報の影響により、スーツなどを中心とした重衣料の販売点数が減少すると考えている。
衣料品専門店（営業担当）	・英国のEU離脱問題など世界情勢は悪くなるばかりで、そんな世の中で、買物などにお金を使わなくなってきた。
住関連専門店（統括）	・景気が上向き状況ではなく、また、そのような政策等も見当たらない。まだ伸び悩みの状態が続くのではないか。
その他専門店〔貴金属〕（経営企画担当）	・景気のプラス基調から、マイナス基調への潮目の変化が、日々の売上、客足などから把握できる。売上減少への対策を打たなければ、ずるずると悪い波に引き込まれる可能性を感じ、景気はやや悪くなる（東京都）。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・世界的な先行き不安一色の報道に、購買意欲は低下すると思われる（東京都）。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・今後、英国のEU離脱問題の影響がどう出るのか、よく分からない。世界経済が不安定になっている。
高級レストラン（経営者）	・直接の原因は円高に起因する大企業の資産価値減少や貿易収支の下方修正、株価下落と収入減の恐れである。当店のよう、生活必需品ではなくむしろ贅沢に分類される店は影響を受ける。ただし、当店の固定客の中心はハイミセスであり、食を扱っている強みで、服飾等に比べれば買い控への影響は少ないと考えている。
一般レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題は遅かれ早かれ、様々な影響を及ぼす（東京都）。
一般レストラン（経営者）	・消費税増税が再延期になったが、さらに、英国のEU離脱問題で経済がどうなるのかわからず、先行きがみえないため、消費も冷え込む。今より一層不安である。
一般レストラン（経営者）	・宴会需要はそれほど変わらず、客単価や客の1回に使う金額もあまり変わっていないが、極端に個人消費は冷え込んでいる。今後も、しばらくは様子見という感じで消費を控えるのではないかと（東京都）。
一般レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題によるヨーロッパ経済の混乱とその後の低迷は避けられない。その結果、円高と低金利政策が長引けば長引くほど、輸出関連企業、金融、観光業を中心にボディーブローのように効き、いずれ深刻な状況を生み出すのではないかと。そういう意味では、半年～1年先は、3か月先よりさらに悲観的にならざるを得ない。

一般レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題が響いている。株価や円高により、景気は変動するため、良くなるとは思わない。
一般レストラン（経営者）	・英国のEU離脱問題に影響され、株価、円高など、不安な報道が出ているため、やや悪くなる（東京都）。
一般レストラン（スタッフ）	・あまり明るい材料がない。店をやっているけどもそうだが、普通の生活でも食費だけではなくいろいろとお金がかかる。飲食店は余暇で使うものだから、なかなか悪い。ただ、それほど売上が落ちていないので、頑張っているということだと思うが、雰囲気として良い材料はない。
その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・英国のEU離脱問題等、世界経済の動きが与える日本経済への影響はマイナス方向に働き、景気改善は考え難い（東京都）。
都市型ホテル（スタッフ）	・円高、株安は今後も続く。
都市型ホテル（スタッフ）	・例年、選挙時期の動きは鈍くなるが、特に今回は、先の受注が少なく前年を下回っている。宿泊、レストラン利用は夏休みなどのプラス要素があるものの短期間であり、婚礼、宴会はオフシーズンで厳しい時期を迎えるため、現状、良くなる要素がなく、やや悪くなる。
旅行代理店（経営者）	・英国のEU離脱問題が気になる。
旅行代理店（従業員）	・英国のEU離脱問題で、経済状況が円高、株安等、悪化する（東京都）。
旅行代理店（販売促進担当）	・今月も厳しかったが、今後は英国のEU離脱問題の影響がどの程度出てくるかである。円高に向かえば、海外旅行は良いと思うものの、現状、海外旅行の売行きが悪いので、非常に危惧している。また、国内旅行は、九州の復興旅行などが始まるため、その点は少しプラスになると思うが、全体的には厳しいという見通しである（東京都）。
旅行代理店（営業担当）	・英国のEU離脱問題による、貿易、株価、為替等の不安のため、やや悪くなる（東京都）。
タクシー運転手	・タクシー業界は選挙があると、深夜客が減るのが常だが、それにしても、深夜の客が減っている。今回の英国のEU離脱問題で、銀行の本店やコンサルタント会社の残業が増えるのではないかと期待していたが、今のところ全く増えていない。個別に客に話を聞くと、仕事は大変忙しくなっているということだが、残業をしていないようである（東京都）。
通信会社（経営者）	・他社携帯電話を軸とした当社のインターネット解約は続くと考えられる。アフターサポート部隊による顧客訪問活動が防止策となるため、抑止には時間が必要である（東京都）。
通信会社（管理担当）	・円高、株安が大きくマイナスに影響し、消費の手控えは確実であるため、最低半年は販売減を覚悟しなければならない。
通信会社（営業担当）	・景気向上につながる材料がない。むしろマイナス要因となる要素やイメージが支配している印象である。
ゴルフ場（従業員）	・英国のEU離脱問題、アメリカ大統領選など、日本に限らず世界中の危機を感じる。世界、日本、地方自治、企業等々どのような組織においても、有能で良識あるトップリーダーが必要である。
その他レジャー施設〔ボウリング場〕（支配人）	・英国のEU離脱問題による、世界経済のショックが大きく出てしまったため、心理的な冷え込みから余暇への出費は、厳しくなる。
その他レジャー施設（経営企画担当）	・英国のEU離脱問題が国内外の経済に悪影響を及ぼす時期だと思われる。インパウンドの減少や国内景気の減退が懸念される（東京都）。
美容室（経営者）	・商店街が静かになってきているような気がする。
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・小中学生の減少により、各塾とも体験期間を延ばすなど、生徒の取り合いになっている。また、価格もどんどん安くなっている。今後、景気が上向くとは期待できない。
その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・客の世代交代に対応したいが、その手段をなかなか見い出せず、しばらくは売上が減少する。
その他サービス〔電力〕（経営者）	・英国のEU離脱問題に伴い、世界経済の停滞が懸念されている。そうなると新築マンションも減少し、一括受電による小売電力導入の減少が懸念される（東京都）。
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・経済の先行きに対する不安が広がっていると感じる。
設計事務所（所長）	・仕事量が激減しているのだから、これから先、仕事が増える状況を見極めることがなかなかできない。政府が手を打ってくれないと景気は上向いていかない。何しろ仕事がない。
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税の再延期や英国のEU離脱問題が、企業や富裕層の投資活動にどのような影響を与えるか不透明であり、今後が懸念される。

	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕(経営者)	・このままでは、先の予測ができない。先行きが大変に不安である。
	その他住宅〔住宅資材〕(営業)	・選挙や世界情勢を見て、様子見の客が多いと感じる。国内需要のみで考えると影響は少ないと楽観的に思う反面、実需に期待できないのが現況である(東京都)。
悪くなる	一般小売店〔家具〕(経営者)	・これから先の景気だが、英国のEU離脱問題というショッキングなニュースがあり、これから大分厳しくなるだろうと感じている(東京都)。
	一般小売店〔食料雑貨〕(経営者)	・近郊で秋に大型ショッピングモールのオープンが予定されている。以前のような大規模小売店舗法が復活して欲しい。
	一般小売店〔家電〕(経営者)	・英国のEU離脱問題で、混乱が続く。落ち着くまでに2~3か月はかかると考えられるため、しばらくの間は悪い(東京都)。
	百貨店(総務担当)	・英国のEU離脱問題を受け、円高、株安などの消費マインドに悪影響を与える要因により、消費行動が更に鈍化すると予想される。
	百貨店(販売促進担当)	・英国のEU離脱問題に関連し、経済の先行きに不安を感じさせるマスコミ報道が多く、為替、株式相場の動きも、客の消費マインドにマイナスの作用をしている。お中元ギフトの動きも鈍く、7月のボーナス支給後の動きによっては、さらに悪くなる。
	百貨店(計画管理担当)	・英国のEU離脱問題により、円高、株価下落が将来への不安を与え、消費マインドが下がる。生活に直接影響するとは思えないことが、消費へ悪影響を及ぼしそうである(東京都)。
	百貨店(営業企画担当)	・英国のEU離脱問題による影響が未知数ではあるが、為替、株価が低迷し、不安定な状況が継続すれば個人消費に悪影響を及ぼすと考える(東京都)。
	スーパー(経営者)	・英国のEU離脱問題による日本株の下落、円高により悪くなる(東京都)。
	スーパー(営業担当)	・英国のEU離脱問題は、日本も含めた全世界に大きな影響を与える。当分の間、全世界的な景気の落ち込みは避けられない(東京都)。
	衣料品専門店(店長)	・収入が増えないため、若年層を中心に買い控えが顕著である。
	家電量販店(経営企画担当)	・節約志向が強まっているなか、今回の英国のEU離脱問題が日本国内の景気に直接影響を及ぼすことはないが、円高、株価下落の悪影響があらわれ、国内景気、インバウンド需要に影響が及ぶ(東京都)。
	乗用車販売店(店長)	・世界情勢も不安で、消費者の購買意欲がさらに低下するのではないかと。
	その他小売〔生鮮魚介卸売〕(営業)	・英国のEU離脱問題など悪いニュースの影響が心配である(東京都)。
	一般レストラン(経営者)	・皆も同じだと思うが、英国のEU離脱問題が世界や日本の経済状況の悪化を招くと思われる(東京都)。
	一般レストラン(経営者)	・現政権でなくても、今と変わらない政治を行い、20~30代の収入が増えないようでは、結婚もしなくなり、日本はどんどん先細りになっていく。政治家には、必要な政策にきちんとお金をかけて欲しい。
	都市型ホテル(スタッフ)	・英国のEU離脱問題で、円高の影響もあり、観光業界としては外国のインバウンド来客数が減るのではないかと懸念している。全体の株価も下がってくるため、ホテル自体の景気も非常に心配になってくる。
	都市型ホテル(スタッフ)	・円高や金融不安が国内外のレジャー需要に及ぼす影響を懸念する(東京都)。
都市型ホテル(総務担当)	・EU等の経済状況悪化やテロの拡大、円高等の外的要因により、景気の悪化が懸念される。	
タクシー運転手	・6月23~24日に実施された、英国の国民投票によるEU離脱問題で、今後の世界や日本の経済がどうなっていくの心配である。輸出産業で成り立ち、アベノミクスで円安を誘導する政策を推進している日本からすると、デフレの進行を助長する恐れもあるため、海外投資家のリスクオフに伴う円買いは日本経済にも悪い影響を与えると専門家も言っている。激しい市場の動きが落ち着くまでのしばらくは、悪くなる(東京都)。	
タクシー運転手	・良い材料は感じられない(東京都)。	

		<p>その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）</p> <p>住宅販売会社（経営者）</p>	<p>・英国のEU離脱問題から、世界的に株安、円高の状況となっており、消費者の先行きに対する感覚が大分厳しくなってきた。そういった意味で、今後この状況が続くと3か月後の景気は冷え込むのではないかと心配している（東京都）。</p> <p>・まだ中小企業の景気が回復していないところへ、英国のEU離脱問題という不安材料が発生したため、今後どのように影響を受けるか分からないものの、景気が良くなる材料は何も見当たらない。今後は参議院選の結果がどのように影響してくるのだが、景気が良くなるとは思えない。</p>
企業動向関連 (南関東)	良くなる やや良くなる	<p>出版・印刷・同関連産業（営業担当）</p> <p>その他サービス業〔警備〕（経営者）</p> <p>その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）</p> <p>その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）</p>	<p>・法人関係の仕事以外に、店頭には個人客も来店する。実印の場合は必要に迫られて作るということが割と多いが、今月あたりから、1人で3本、家族の分もギフトとして使うというのを見かける。どうしても必要というのではないが、作ってギフトにする客が増えているため、やや良くなる現場では感じている（東京都）。</p> <p>・工期等をみても、しばらくこの状態は続くため、やや良くなる。</p> <p>・新規契約の見込みがあるため、今月よりは良くなる（東京都）。</p> <p>・案件が減っているわけではなく、むしろ増えている。</p>
	変わらない	<p>食料品製造業（経営者）</p> <p>食料品製造業（経営者）</p> <p>化学工業（従業員）</p> <p>プラスチック製品製造業（経営者）</p> <p>金属製品製造業（経営者）</p> <p>金属製品製造業（経営者）</p> <p>一般機械器具製造業（経営者）</p> <p>電気機械器具製造業（経営者）</p> <p>電気機械器具製造業（経営者）</p> <p>建設業（経営者）</p> <p>建設業（経営者）</p> <p>建設業（営業担当）</p> <p>建設業（経理担当）</p> <p>通信業（広報担当）</p> <p>金融業（従業員）</p> <p>不動産業（経営者）</p> <p>不動産業（総務担当）</p>	<p>・今は少し悪いが、一時的、心理的な物のような気がする（東京都）。</p> <p>・景気の良くなるような話題がない。</p> <p>・毎月、定期的に入っていた注文が、2～3か月に受注間隔が伸びており、先行きが不安である。中国大陸向けは順調なため、トータルではプラスマイナスゼロである。</p> <p>・参議院選、都知事選等の終わった後に、どういう動きになるか読み切れない部分があるため、景気は大きく変わらない。</p> <p>・賃上げ分をカバーできる売上がなく、一部業種を除いて仕事量は減ってきている。</p> <p>・英国のEU離脱問題がどのような結果になっていくかが現時点では分からない。しかし、現状を維持できる方向で動くのではないかと希望的観測も含めて、変わらない。</p> <p>・当社は自動車部品の取扱いが多いため、7～8月にかけては、お盆休業もあり、それほど良くない。秋にかけては新規受注もないので、変わらない。</p> <p>・相変わらず電気を十分に使えない状態が続き、電気を消費する高級機種が設計の段階で除かれる。国内では売れないため、海外で販売する努力をしているが、時間がかかる（東京都）。</p> <p>・英国のEU離脱問題は、相当不安定な要素が波及するので、今後の見通しは一段と悪くなる（東京都）。</p> <p>・世界経済にもあそばれている感があり、消費意欲が低迷している。</p> <p>・英国のEU離脱問題から、世界経済がより大きく揺れるのではないか。</p> <p>・英国のEU離脱問題で円高や株価の下落が懸念され、一部の取引先は発注を控えている。消費税増税の再延期や参議院選、衆議院の解散の心配など、目まぐるしく報道されるなかで、多くの客は設備投資を控え始めている。</p> <p>・駅前や駅近の貸しビルや、ロードサイドのテナントなども空室が目立ち、増加するばかりである。新たに進出する企業も見つからず、これからも空室が増えそうである。</p> <p>・しばらくはこの状況が続く見込みである（東京都）。</p> <p>・取引先の中小企業でも、製造業を中心に海外取引の比重を高めて売上を伸ばしている企業は少なくない。ただし、英国のEU離脱問題以降、円高による取引状況の悪化が懸念される（東京都）。</p> <p>・新築物件がこのような状況とは考えられない。当社は一切おすすめていない（東京都）。</p> <p>・当社所有の賃貸ビルは、概ね好調に推移するとみているが、一部テナントの退室が予定されており、その後継テナントがなかなか決まらない。競合するビルも多く、賃料交渉で大幅な譲歩が必要となっている（東京都）。</p>

	広告代理店（従業員）	・新規受注はないが、減少もない。増減の変化が止まったように感じる（東京都）。
	税理士	・これまで言ってきたアメリカの景気が良いとか、中国バブルが弾けそうであるということ、また、英国のEU離脱問題、これらによって円高が進むとか、世界経済と日本が連動している。国内ではアベノミクスが引っ張っていると言っていたが、円高が進みそうだし、どんな展開になるか分からない。リーマンショックの再来、あるいはそれ以上になるとも言われており、読めない。円高によって3～4年前の形になって行くかと思っており、3か月前より悪くなるかもしれない（東京都）。
	社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。
	経営コンサルタント	・下請部品メーカーの社長は、「発注先と年度初めに契約内容の見直しを行っているが、今年度は思うような見直し内容とならなかった。世界経済の不安定要素が多いからだろうが、発注先の慎重姿勢が目立ち、この状態は当面続くのではないか。」と話している。
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・現状が好転する要素は、取引先からあまり聞かない。さらにここに来て、ユーロ圏を震源とする経済不安がどのように影響してくるか心配である。
	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・受注量を大きく増減する要因は見当たらないため、今後も変化はない。
やや悪くなる	食料品製造業（営業統括）	・英国のEU離脱問題の影響がどれほど出るのか不透明で、少なくとも兆しが明るいとは言えない。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・当社特有の季節的要因もあるが、受注量が増え景気が良くなるという傾向にはない（東京都）。
	プラスチック製品製造業（経営者）	・円高の影響で外国人観光客の爆買いが一服し、頼りにしていた化粧品容器の受注が減少するとの情報が入り、警戒している。
	その他製造業〔鞆〕（経営者）	・当社に関係のあるところや、一般的な周囲の状況でも、検品が厳しくなっている。今までは何でもなかった物が、返品になることがあるので、やや悪くなるような気がする。
	その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・景気の良い影響は一番遅く、悪い影響が一番最初に来る業態のため、世界経済の不安、円高、株安の影響が夏から秋に出てくる恐れがある（東京都）。
	建設業（経営者）	・世界的な景気の減退や国内政策の実効性が不十分なため、やや悪くなる。
	輸送業（経営者）	・海外での大きな出来事があり、それによって非常に金融関係も大きな打撃をこうむることが予想されるため、当分の間は、景気を支えていくという力に欠けて、押し流されてしまうような展開になるのではなからうか。
	輸送業（経営者）	・前年同期の売上を下回る現状から、例年売上の落ち込みが大きい8～9月は更なる悪化が危惧される（東京都）。
	輸送業（総務担当）	・取引先より物流コストの見直しによるコースの減少や荷量の減少の話が出ている。また、人件費やガソリン価格の上昇、さらには、英国のEU離脱問題による市場動向の変化など先行きに不安もあり、厳しい状況は続く。
	金融業（統括）	・為替相場がこれだけ動いており、ユーロも落ち着かない状況にあるため、今後も下降傾向にあると思う。
	金融業（支店長）	・英国のEU離脱問題報道により、輸出企業にかなり影響が出ると見込まれ、国内景気の減速懸念が始まっている。
	金融業（営業担当）	・英国のEU離脱問題で円高、株安が当面続くのであれば、観光客向け売上減が予想され、小売業全体で売上が減少する。株安によりすべての業種に不景気感が及び、先行きに対する不安からも景気は落ち込む（東京都）。
	金融業（役員）	・少し上向きかけた景気が一気に減速し、設備投資計画を凍結する動きが始まっている。
	広告代理店（営業担当）	・英国のEU離脱問題により、市場の動きが変わる可能性がある。円安によるインバウンド客の恩恵を受け、売上を伸ばしていた取引先が多く、今後、円高になれば、それら企業の売上が減少し、宣伝費に反映するのではないかと（東京都）。
	経営コンサルタント	・英国のEU離脱問題は、何らかの形で国際経済へ影響があるとみている。
	税理士	・英国のEU離脱問題も持ち越しているが、参議院選の与党以外の政策を聞いても、何ら景気の回復につながる要素は感じられない。与党の現在の政策のままでは、英国のEU離脱問題に引きずられてしまいそうである。新たな起爆剤がないと円高傾向に歯止めがかからないのではないかと。
経営コンサルタント	・英国のEU離脱問題が世界に影響をもたらさそうで、今後が不透明である（東京都）。	

		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・例年、夏場は発注が控えられているが、特に今年は、円高や株安などで不安材料が多く、取引先でもあまり景気が良いという話は聞かない（東京都）。
悪くなる		繊維工業（従業員）	・英国のEU離脱問題により、世界経済が不安定になっている。日本も急激な円高、株安によって、消費者心理が冷え込んでいる。また、企業の収益面から、賃金の低下につながる恐れがある状況で、厳しいのではないかと（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（所長）	・自動車系広告案件が前年末から急激に減少し、今年のボーナス商戦時期に多少の回復を期待していたが、前年の半分近くに落ち込んでいる。回復の兆しが一向に見えない。
		精密機械器具製造業（経営者）	・英国のEU離脱問題により急速に円高となり、株価も下がりがり年末まで不安感が強い。また、11月まではアメリカの次期大統領も誰になるかが焦点になるため、良い材料がない。これらを受けて日本のメーカーの事業縮小などが予測され、不安感が強い。
		輸送業（総務担当）	・鉄鋼関係の荷主の出荷量は、今後も国内は低迷状態が続く、輸出は英国のEU離脱問題で円高が続けば、出荷はほとんどなくなると考えている。
		広告代理店（経営者）	・契約打ち切りになった分を補てんする商材が、現時点ではまだ見せていないため、悪くなる。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・今後、英国のEU離脱問題による悪影響が及ぶ（東京都）。
雇用関連 (南関東)	良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・今期中に社員転換方針を確定させ、運用していく可能性が高い（東京都）。
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・問い合わせが増えている（東京都）。
変わらない		民間職業紹介機関（経営者）	・季節の変わり目は、はっきりしている方がよい。気持ちが変わり、環境や状況の変化を受け入れ易くなる。暑い夏を期待する声が多くなっている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・経営者の方々と話をしたが、参議院選に向かって、今のところ景気の良くなる話は何もなく、さらに英国のEU離脱問題等の話もあり、円高が進んできて、アベノミクスは何をやっているんだと、非常に不信感を持っている方が多い（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・人材不足の状況が解消される見込みはない。
		人材派遣会社（社員）	・景気回復の要因となりそうな事柄が見当たらない（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	・派遣は受注増だが、派遣登録数は増えず、成約数は横ばいが続くとみている（東京都）。
		職業安定所（職員）	・求職者の減少傾向もあり、人手不足業種を中心に求人倍率は上昇傾向で推移している。事業者から求人募集の理由を聞くと、従業員の高齢化に対応した人材確保の募集との回答が複数ある。求人倍率の上昇は、景気の状態というよりも、若年者等の人材確保のためである。
		職業安定所（職員）	・企業の求人意欲は強いものの、求職者の減少傾向が続いており、応募者、就職者共に、減少している（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・国内の短期的な景気回復への期待は弱く、他の多くの不安要因が強く影響している。企業でも景気回復時の人材確保を常に考慮し対応は取っている（東京都）。
やや悪くなる		民間職業紹介機関（職員）	・新卒採用が一段落し、今後は中途採用に移行していくが、円高、株安の心理的側面がどう影響するかはまだ見えず、今のところ大きな変化はみられない（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・英国のEU離脱問題により海外市場が不安定になっている。国内でも株価下落、円高等が長期化すれば景気減退の要因となり、先行きが不透明な状況にある（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・今は参議院選の特需で短期的な採用が増えているが、選挙が終われば、その分採用数は減少する（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・人材採用は、落ち着いてきている。例年夏場は求人、求職者の動きが鈍くなる傾向がある。3～4月ごろに求人が多く動いた反動もあり、求人景気は落ち着いて、若干悪くなる可能性がある。
		人材派遣会社（支店長）	・英国のEU離脱問題により円高、株安等、商社、メーカーの派遣活用の減少が心配される。
		人材派遣会社（営業担当）	・英国のEU離脱問題が原因で、景気は衰退する（東京都）。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・毎年6月以降の3～4か月間は求人広告数が増えるが、今年に限り15%ほどマイナスになっている。この時期にマイナスということを見ると、景気の上昇は考えにくい。
	職業安定所（職員）	・新規求人数の前年度と比べた増加率が、下がってきている。また、高水準である有効求人倍率も、高止まりの状態となっている。	

	職業安定所（職員）	・英国のEU離脱問題による株価低下と円高傾向のため、やや悪くなる。
悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・一部企業の減速感に加えて、英国のEU離脱問題を敏感に感じた大手企業の様子見など、予算執行を見送る動きが加速すると予測する（東京都）。
	求人情報誌製作会社（広報担当）	・株価がここ数日で変動しているため、取引先等に影響がかなり出るのはないか（東京都）。
	職業安定所（職員）	・英国のEU離脱問題の影響が進んでいくとみている。
	学校 [大学]（就職担当）	・英国のEU離脱問題による影響で、悪くなる（東京都）。